



坂又前会長が表彰されました

4月の総会まで会長を務められた坂又國昭前会長が、多年の地方自治に寄与された功績が認められ、射水市地域振興会連合会長より表彰されました。

坂又前会長は、林元会長の急逝により会長代行を務め、平成27年度の総会において正式に会長に就任されました。自ら先頭に立って業務にあたる姿が印象的で、左義長準備や太閤山っ子みまもり隊では率先して軽トラックを運転しておられました。また平成28年度には、太閤山入居開始50周年にあたり、記念誌の編纂と発行、太閤山公園相撲場の土俵に係るやぐらの改装を行い、区切りとなる50周年に大きな花を添えるとともに、次の世代への確かな足掛かりを形成されました。

この度の退任により、太閤山地域振興会としては大事な柱を失った感があります。しかし、坂又前会長が残された確かな足跡を引き継ぎ、さらに住みよい太閤山地域を目指して、事業を進めていく所存です。坂又前会長には長年に渡ってありがとうございました。

9月までの各種行事

【納涼祭】中止とし、花火大会に代替

【敬老会】昨年度と同様、記念品贈呈に代替

【住民大運動会】今後の状況を見ながら体育協会と検討

なかなか厳しい状況が続きます。地域住民の親睦を図る行事が実施できないのは残念ですが、ワクチン接種を契機として、楽しい行事が一つでも復活できるようにしたいものです。

太閤山小学校 太閤山っ子みまもり隊研修

5/27(木)『旗を振る側からの交通安全教室』

太閤山コミュニティセンター多目的ホールにおいて、太閤山っ子みまもり隊隊員や交通安全協会太閤山支部の方々を対象に、射水警察署交通課 長谷部課長・石黒係長を講師に研修を行いました。

日頃の見守り活動について、「自分の身は自分で守る」意識を持つことが大前提であること、歩行者の危険回避や避難についても学びました。



スポーツ！栄誉をたたえます

5/9(日)第32回太閤山地区パークゴルフ大会

中山公園特設コースにて、体育協会の新型コロナウィルス感染症に関するガイドラインに基づき実施しました。

当日の朝は天候が不安定でしたが、競技中には晴れ間ものぞき良い気候となりました。32名が参加され、ホールインワンも2名出て非常に盛り上がる大会となりました。

【個人の部】優勝 石黒 隆(太8)

次勝 老田利夫(太閤町) 参勝 室田正雄(太5・6)



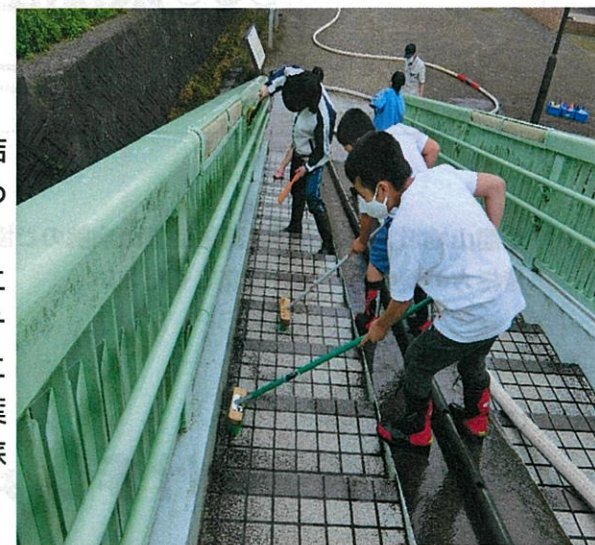
横断歩道橋（愛称：なかよし橋）の清掃活動

5/30(日)午前8時30分

太閤山環状線を跨ぎ、なかよし公園、囲山公園を結ぶ横断歩道橋（通学路）の清掃活動が2年ぶりに行われました。（昨年はコロナ感染症拡大で中止）

児童はじめ皆さんが気持ち良く安全に渡れるように太閤山消防分団の協力を得て、太閤山小学校ボランティア委員と太閤山9丁目町内会など約40名の参加による清掃活動で、手すりの汚れや通路・階段の落ち葉や汚泥がすっきり清掃され、渡りたくなる歩道橋に蘇りました。【必ず、横断歩道橋を利用しましょう】

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



生涯学習事業からの活動報告

5/18(火)♪オカリナミニコンサート♪

コロナ禍にあって、なかなか演奏依頼を受けてもらえない中、荒谷先生・山本先生には快諾していただきオカリナの演奏会が実現しました。

懐かしい昭和歌謡や、話題の鬼滅の刃の『炎』など誰もが知っている選曲でした。こきりこ節では参加が演奏に加わる場面があり、曲に合わせてペンライトを振ったりと演出も工夫していただいて、大いに盛り上がりました。先生方に感謝です。

オカリナの音色を通して、ゆったりとした癒しの時間を共有することが出来、参加の皆さんに喜んでもらえて、とても良い企画だったと思いました。



コロナ禍でもできる生涯学習の
楽しいアイデア募集しています

ひょうたん

朝、いつも家を出る時刻が違うと、景色も違うからおもしろい。

その日は、ゴミ出しのため若干家を遅れて出ることになった。まず、行き交う車の景色が違ってくる。遅く出たからか、いつもより車が多い。また、いつもすれ違うはずの赤いワゴンを見ることはなかった。マラソンで通勤する人とは、いつもと違う場所ですれ違うことになった。5分遅く出るとこれだけ景色が違うのである。

いつもはいない小学生があちこちで登校している。列になって見守り隊の方と歩いている。背の高い子どもを先頭に順に背が低くなっている。一番後ろの1年生は半分駆け足になる。もとより小さな子どもはいつも走っている印象がある。走ることを仕事としている風に見える。年を重ねた我々はせいぜい車で走ることぐらいしかできない。

職場に着く。いつもより人が多い。仕事場に入る。「おはようございます」を頻繁に言うことになる。デスクに着いたとき、未決の資料が山になっている景色が目に入った。結局、これがいつもと一番違う景色となった。(M)



太閤山地域振興会では、真生会富山病院のご協力で毎回健康ニュースを掲載します。
皆様方の健康管理にお役立てください。



(今月のテーマ)

定期検査を受けましょう

真生会富山病院 内科 刀塚俊起

◆血液検査、尿検査で何がわかりますか？

医療機関で行う血液検査、尿検査は、病気の診断と薬の効果、治療効果の確認、副作用チェックのために行います。高血圧症の場合は、血圧計で変化がわかります。糖尿病の場合は、血液検査を行わねば血糖の変化はわかりませんので、血液検査が絶対に必要です。高脂血症の場合も、コレステロールの値は、血液検査でしかわかりません。また、薬剤を長い間、服用している場合は、副作用のチェックのために血液検査、尿検査が必要です。自覚症状もなく肝臓や腎臓に障害が現れることもあります。肝臓や腎臓の障害は、進行しなければ自覚症状として現れません。血液検査で初期に発見することが大事です。以下のことが血液検査、尿検査でわかります。

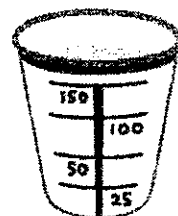
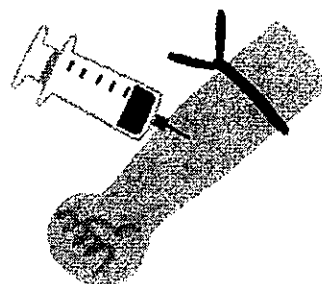
【血液検査】

- 貧血がないか、肺炎などの感染症がないか、血小板が減るなどの血液の病気がないか
(貧血が進行した場合は、胃腸の病気がある場合があります。)
- 肝臓や腎臓が悪くなっていないか
- 高脂血症かどうか、栄養状態はよいか
- 糖尿病がないか
- 電解質(体液の状態)のバランスが崩れていないか
- 炎症が起きていないか(感染症や関節リウマチ、膠原病など)

【尿検査】

- 尿蛋白—腎臓の病気がないか。膀胱炎、腎炎など
- 尿糖—糖尿病がないか
- 尿潜血—腎臓、尿道、膀胱の病気はないか
- 尿沈渣—膀胱炎、尿路感染はないか。腎炎はないか

膀胱炎は尿検査だけでも診断できますが、糖尿病は血液検査と組み合わせて判断します。



大事な病気が抜けていますね。がんです。血液検査、尿検査ではがんがあるかないかはわかりません。腫瘍マーカーという血液検査は、相当がんが進行せねば異常が出ません。がんを早期発見するために、がん検診が別に設けられています。また、市で行われている「特定健診」の血液検査は、主にこの中の3つ(肝臓・腎臓、血糖、高脂血症)をカバーしていますが、薬を内服されている場合、半年に一度は、医療機関での血液検査が必要です。

◆がん検診

市で行われているがん検診は4つです。肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診です。女性は子宮頸がん検診、乳がん検診が加わります。検診の受診率は、概ね、男性40%前後、女性30%前後です。子宮頸がん検診は、20代は20%、30代40代は40%。乳がん検診の受診率は最も低く30%以下です。欧米の80%に近い検診受診率に比較すれば、その差は歴然としています。

かつて、集団検診に批判的な医師の意見が席捲したことがありましたが、現在はいくつかの研究成果により、がん検診はがんの早期発見に有効であると考えられています。胃がん検診はバリウム検査が主流でしたが、内視鏡検査の有効性が示されて、5年前から胃がん検診に採用されました。肺のレントゲン検査は、肺がんだけでなく、結核、他の肺や心臓の病気が分かることがあります。大腸がん検診は、最も簡単です。便の中の血の成分を検出するだけです。潜血反応と言います。もし陽性であれば、大腸内視鏡検査を受けていただきます。大腸がんは早く発見できれば、治癒する可能性が高いがんです。便検査はぜひ、年に一回受けられることをお勧めします。

次の世代のがん検診が次々と開発されています。遺伝子情報を利用した検査です。血液一滴で早期がんの有無が分かる検査がすでに実用化されています。いずれも高額で、数万円以上かかるものばかりですが、今後コストダウンするでしょう。これらの検査が普及すれば、がん検診は大きく変わるでしょう。

